

会 議 録

会議の名称	令和7年度第2回小金井市食育推進会議
事務局	福祉保健部健康課健康係
開催日時	令和7年7月9日（水）午後2時
開催場所	保健センター1階大会議室
出席者	別紙のとおり
傍聴の可否	☒ 可 ・ 一部不可 ・ 不可
傍聴者数	0人
傍聴不可等の理由等	
会議次第	
会議結果	別紙のとおり
発言内容・ 発言者名（主な発言要旨）	別紙のとおり
提出資料	
その他	

令和7年度第2回小金井市食育推進会議 会議録

日 時 令和7年7月9日（水）午後2時00分～午後3時25分

場 所 小金井市保健センター1階大会議室

出席委員 12人

会 長 山 岸 博 美 委員

副会長 松 嶋 あおい 委員

委 員 牧 野 ま や 委員 太 田 篤 胤 委員 三 毛 明 人 委員

委 員 横 山 英 吏 子 委員 北 脇 理 恵 委員 坂 元 雅 明 委員

委 員 大 堀 雄 紀 委員 藤 澤 弘 委員 山 田 五 月 委員

委 員 高 橋 正 恵 委員

欠席委員 3人

委 員 古 莊 優 子 委員 中 村 一 郎 委員 大 石 和 孝 委員

事務局職員

健康課長	伊 藤 崇
健康係長	渡 邊 知 子
健康係主任	萩 野 裕 人
	吉 武 祐 亮
健康係管理栄養士	平 石 瑞 穂
計画策定支援事業者	株式会社コクドリサーチ

傍 聴 者 0人

（午後2時00分 開会）

○山岸会長 それでは、時間になりましたので、始めさせていただきます。

皆さん、こんにちは。本日は暑い中、またお忙しいところ御出席いただき、ありがとうございます。

それでは、これより令和7年度第2回小金井市食育推進会議を開会いたします。

初めに、委員の出欠について、事務局からお願いいたします。

○事務局 本日の委員の出欠の前に御紹介させていただきます。

令和7年度と令和8年度の2か年にかけて、この第5次食育推進計画を策定する予定としております。計画策定に当たりまして、計画策定の支援をしていただくために、業務委託しているところでございます。本日の会議から令和8年度まで、計画策定支援事業者の方にも食育推進会議に参加していただくこととしておりますので、皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

○事務局 事務局です。それでは、本日の委員の出欠について御報告いたします。

事前に中村委員、古荘委員から欠席の御連絡をいただいております。

本日は15名のうち12名の委員に出席いただいております。半数以上の出席を得ておりますので、審議会は成立していることを報告させていただきます。

次に、配付資料の確認をいたします。事前に郵送いたしました資料としまして、次第、名簿、市民アンケート（案）、小中学校アンケート（案）です。また、当日配布資料として机上に配付しておりますのが、保健所の山田委員から、「ちゃんとごはん健康に」と書いてあるカラーのチラシと、あとは坂元委員より、歯と口の健康についての関係で、「今月の会務より」と一番上に書いてあるA4の紙を配付させていただいております。また閲覧用として、第4次小金井市食育推進計画のほうを配付させていただいております。そのほか、配付資料ではございませんが、参考としまして、前回までの市民アンケート版である、表形式のものを配付しております。

お手元に資料がない方はいらっしゃいますでしょうか。過不足等がございましたら、事務局のほうにお願いいたします。

第4次の計画閲覧用は、お帰りの際に机上に置いたままをお願いいたします。

最後に事務連絡です。御発言の際の注意事項です。会議録作成のため録音をしております。発言者名を正確に把握するため、会議において発言する際は挙手していただき、会長が指名後、御自身のお名前をおっしゃってから発言するよう御協力をお願いいたします。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。

それでは、次第2、新委員紹介についてです。前回会議終了後から新たに食育推進委員に就任された方及び退任された方がいらっしゃいますので、事務局から紹介、報告をお願いします。

○事務局 それでは、資料1、小金井市食育推進会議委員名簿を御覧ください。

令和7年7月1日より、井上委員に代わり中村一郎委員が、社会福祉協議会からの推薦で委員となりました。任期は令和8年1月31日までとなります。本日は欠席でございます。

続きまして、令和7年7月1日より、高橋委員に代わり大堀雄紀委員が、小金井市農業振興連合会からの推薦で委員となりました。なお、委嘱状につきましては、本日机上への配付をもって、交付に代えさせていただきます。任期は令和8年1月31日までとなります。

それでは、大堀委員から一言御挨拶をお願いいたします。

○大堀委員 小金井市の農業振興連合会から来ました大堀です。まだちょっと右も左も分からないところがありますが、皆さん、よろしくお願いします。

○事務局 ありがとうございます。

次に、退任された方の報告です。令和7年6月30日付けで雀部委員が退任されましたので、御報告させていただきます。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。新委員の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ります。

(1) 第5次小金井市食育推進計画に係る市民アンケート（案）について。こちらも事務局のほうからお願いいたします。

○事務局 それでは、資料2を御覧ください。市民アンケート（案）について、前回までは表形式で資料を作成しておりましたが、アンケートを実施する際のレイアウトやページ数をイメージしやすいように、今回から実際のアンケート様式で資料を作成しております。

資料2の1ページ等を見ていただくと、問いの下に、国目標、都調査、本市の指標、第1回審議会時の調査番号を記載しておりますが、この表につきましては、委員の皆様が食育推進会議で協議、検討しやすいように挿入しているものでございますので、実際のアンケートには挿入しないものとなりますので、御承知おきください。

今回、第2回の会議において議論していただきたい部分というのは、この資料2の間19から最後の間28までとなります。

では、まず初めに、前回までに議論した問1から18までの項目につきまして、前回会議の委員の意見を反映して修正した部分及び事務局において改めて精査した結果、変更した部分について説明させていただきます。

それでは、問8を御覧ください。設問文を変更しております。現在と比較して、次のことは「増えましたか、減りましたか」としておりましたが、農林水産省が行った食育に関する意識調査を参考に、現在と比較して「食生活に変化はありましたか。」という設問文に変更いたしました。

続きまして、問9-2を御覧ください。こちらも設問文を具体的な表現に変更しております。前回ま

では、「内容をこちらの自由記述欄に記入ください。」としておりましたが、内容という部分を具体的に表現し、「食生活で不安に思っていることをこちらの自由記述欄にご記入ください。」と変更いたしました。

続きまして、問10-4を御覧ください。こちら先ほどと同じように、設問文を具体的な表現に変更しております。「内容をこちらの自由記述欄にご記入ください。」としておりましたが、内容という部分を具体的に表現して、「食物アレルギーでお困りのことをこちらの自由記述欄にご記入ください。」というふうに変更しております。

続きまして、問11-3を御覧ください。こちら先ほどと同じように記述を具体的に表現し、「食育」に関する活動や行動内容をこちらの自由記述欄にご記入ください。」というふうに変更いたしました。

続きまして、問11-4を御覧ください。前回までは問11-1の次に設定していた問いですが、問11-1の分岐設問の関係から掲載順を変更しまして、現在この資料2の位置に変更いたしました。

続きまして、問12-1、「あなたは普段、家庭における「食生活」について」としておりましたが、家庭に限定すると単身世帯からの回答率が下がる可能性が考えられることから、「家庭における」という文言を削除して、「あなたは普段、「食生活」についてどのようなことを行っていますか。」という設問に変更いたしました。

また、設問文の変更に合わせて、問12-1の⑤についても、「家庭では」という文言があったんですが、「家庭では」を削除しております。

続きまして、この問12-1⑩です。「食後はすぐ歯みがきをする」という設問にしておりましたが、歯磨きのタイミングとして、食後すぐを推奨するガイドライン等はなく、直後すぐがよいとする考え方と、食後一定時間経過した後がよいとする考えがあることから、「すぐ」という文言を削除して、「食後に歯みがきをする」というふうに変更いたしました。

続きまして、問12-2、前回の第1回食育推進会議において、選択肢の内容が全てイベントとは言えないという御指摘をいただいたことから、「あなたが行ったことがある食育に関する取組み」という文言を追加して、「あなたが参加したことのある小金井市の食育のイベントや、あなたが行ったことがある食育に関する取組みは何ですか。」という設問文に変更しております。

続きまして、問13-1、前回の第1回食育推進会議で、「普段」という文言を入れたほうがいいのかという御意見があったことから、こちらに「普段」を追加し、「あなたは普段朝食を食べますか。」という設問に変えております。

続きまして、削除項目になります。参考資料を御覧いただければと思います。参考資料の今回調査番

号の13-3に当たるところです。前回の第1回食育推進会議で、「朝食を食べないと1日の栄養必要量を満たせない」とか、あとは「生活習慣病になりやすい」という表現について、必ずしもそうではなく、表現が正確ではないというような御意見をいただき、またそもそもこの設問をしたとしても、今後の事業などに生かせないということを判断して、この設問については削除しております。

続きまして、参考資料の今回調査番号の14-1です。こちらも前回の第1回食育推進会議で、主食・主菜・副菜のそろった朝食は市民の実情には合っていないのではないかという御意見があったことから、こちらの設問文も削除しております。

すみません、資料を行ったり来たりするんですが、資料2にお戻りください。資料2の8ページです。問13-3を御覧ください。こちらは先ほど説明した、前回の参考資料の14-1の設問を削除したことから、「主食・主菜・副菜のそろった」という文言を削除しております。

また、選択肢につきまして、前回の第1回会議で、ライフステージに合わせて6つぐらいにしてはどうかというような御意見があったことから、健康日本21を参考に、また具体的な年齢につきましては他自治体を参考にして、記載のとおり選択肢を、前回11個あったんですけども、ライフステージの6つと、あとは「覚えていない」という項目を1つ加えまして、7つに整理したところでございます。

問14-1を御覧ください。こちらは設問文の注意書きとして、「主食、ごはん、パン、めん類など」と記載しておりましたが、このごはん、パン、めん類などというところはもう既に選択肢に表記されていることから、重複するので削除しております。

続きまして、問14-2、こちらは前回の第1回会議で、〇は3つに限定しなくてもよいのではないかといった御意見があったことから、「〇はいくつでも」に変更しております。

また、選択肢につきましても、野菜料理はまとめたほうがよいのではないか、あと、汁物を追加したほうがよいのではないかといった御意見があったことから、選択肢の「野菜のおかず（サラダ、お浸し等）」と、あと「火を通した野菜の多いおかず（野菜の煮物、具だくさんの汁物）」を合わせまして、6の「野菜料理」として、7の「汁物（味噌汁、スープ等）」を追加しております。また、主食以外食べない方もいらっしゃるかと思いますので、「主食以外あまり食べない」という選択肢を追加しております。

続きまして、問15を御覧ください。こちらも前回の第1回会議で、できていないことが前提の質問のように感じるというような御意見をいただいたことから、「改善したいと思いますか。」という設問文を、「できていますか。また、できていない場合、改善したいと思いますか。」設問文に変更しております。

問15の③を御覧ください。前回の第1回会議で、減塩に関する質問を追加してはどうかといった御

意見がありましたので、設問③は「うす味を心がける（塩分を控える）」という項目だったんですが、そちらから、「塩分を摂りすぎないようにする（減塩）」というふうに変更しております。

問１５の⑩と⑪を御覧ください。こちらは前回の第１回会議で、選択肢⑩と⑪をまとめてはどうかといった御意見がありましたが、こちらにつきましては、⑩は習慣についての項目、⑪はそしゃくや嚥下についての項目となっております。確認する内容が異なるため、まとめるのではなくて、そのまま残すこととしております。

問１５の⑯を御覧ください。こちらは前回の第１回会議で、「お菓子を控える」、「スナック菓子を控える」をまとめてはどうかといった御意見があったことから、２つをまとめて⑯として、「間食（甘いお菓子やスナック菓子など）を控える」と変更いたしました。

続きまして、削除項目になります。すみません、本日の参考資料のほうを御覧ください。参考資料の今回調査番号１７です。こちらは第１回食育推進会議で、緑黄色野菜については現在国の指標にもないため、削除してもよいのではないかとといった御意見があったことから、こちらは削除といたしました。

資料２にお戻りください。問１７－３と問１７－４です。前回の第１回会議で「〇はいくつでも」としていましたが、こちらは間違いではないかと御指摘いただきました。そのとおりなので、「〇は１つ」というふうに訂正いたしました。

問１８を御覧ください。本日の参考資料の１９－１で、「あなたはつくった食事や購入した食品を廃棄することがありますか。」、あとは１９－２、「食品産業や家庭において食べ残しや食品の廃棄が発生していることに関して「もったいない」と感じるがありますか。」というふうに設問で聞いているんですが、どのような取組を意識しているかを調査したほうが、今後の事業などに生かやすく、また、東京都の調査でも食品ロス削減につながる取組について調査を行っていることから、質問内容を変更いたしました。結果、問１８のような設問文に変更し、「食品ロス削減につながる行動をしていますか。」というふうに変更いたしまして、選択肢は記載のとおりとしております。

本日の当日配布資料１を御覧ください。当日配布資料１の１ページ、選択肢の追加を御覧ください。当日配布資料１と２につきましては、本日計画策定支援事業者の方から御提案をいただいたものになります。問１８の選択肢について、９と１０という、小金井市独自の取組を伺う選択肢を追加することを御提案いただきました。９番は、「食品ロス削減推進協力店・事業所で買い物や食事をしている」、１０として、「食品ロス削減のアプリ（小金井カメすけ）を利用している」という形で提案いただいています。

選択肢１０の小金井カメすけにつきましては、第４次食育推進計画以降の取組となっており、小金井カメすけに関する周知や利用状況の把握、また、国の現計画において３つの重点事項の一つとして、デ

デジタル化に対応した食育の推進も挙げられることから、選択肢に追加しているところでございます。健康課としては、この2つの選択肢を追加してもよいというふうには考えてございますので、本日、皆さんの御意見をいただきたいと思います。

以上、ここまでが前回までに議論した、問1から18までとなります。前回の会議の意見を反映して修正した部分と、冒頭申し上げたとおり、事務局で精査し、変更した部分の説明となります。

すみません、一気に続けて行きます。次に、今回議論していただきたい問19から28まで説明いたします。では、前回参考資料としてお配りしている表形式のものを御覧ください。削除項目でございます。

今回調査番号で言うと、問20-1、問20-2、問21、こちら3つなんですけれども、国や東京都の調査項目になく、また回答者の負担軽減をするために、削除しております。

では、資料2にお戻りください。問19を御覧ください。前回のアンケートでは、「あなたはふだん、誰と朝食・昼食・夕食を食べますか。「その他」を選択された方は具体的な内容をお書きください。」としておりましたが、国や都では、朝食と夕食に関して、家族と一緒に食べる頻度を調査していることから、設問文を「あなたは、どのくらい家族と一緒に食事をしていますか。」に変更し、朝食と夕食について、「ほとんど毎日」、「週に4～5日」、「週に2～3日」、「ほとんどしていない」の4つの選択肢から回答するように変更いたしました。

なお、この問19と問22-1では、「家族と同居している方に伺います」との条件を設定しているところです。

ちょっとここで皆さんの御意見を伺いたいところなんですけど、この問19と問22-1で、現時点では「家族と同居している方に伺います」としてありますが、家族との食事回数か、または共食の回数のどちらを重視したいか、委員の皆さんの御意見を伺いたいと思います。家族との食事の回数を重視するのであれば、このままの文言でよいと考えているんですが、共食の回数を重視するのであれば、設問文を「家族と同居している方に伺います」という条件を削除して、「家族や友人」といった文言に変更する、もしくは家族との食事回数と共食の回数の両方を質問するということが考えられるかと思います。皆さんの御意見を伺いたいと思います。御意見は事務局の説明後にお願いいたします。

前回の参考資料を御覧ください。削除項目です。問24、問25につきまして、こちらも国や都の調査項目にはなく、また回答者の負担軽減のため、削除しております。

では資料2にお戻りください。問21-1です。前回のアンケートでは、「あなたの家庭では、中食を利用しますか。直近1週間のうち、朝昼晩でそれぞれ何回利用したか回数をご記入ください。」としておりましたが、1週間の食事を振り返ることが困難な場合や、回答者の負担感から回答率が下がるこ

とが予想されるため、東京都の調査と同様に、あなたは、夕食で調理済み、出来合いの総菜や弁当をどれくらいの頻度で利用しますかというふうに変更いたしました。

問23-1、こちらは家族に限定すると、単身世帯からの回答率が下がる可能性が考えられることから、「家族」を削除し、「あなたは、以下の行事食を食べますか。」としております。

問24、前回のアンケートでは、「あなたが食事について、最優先することは何ですか。(〇は1つ)」としておりましたが、前回の調査では複数回答が多く、結果的に無回答で集計されていたことから、「あなたが食事について、重要視することは何ですか。(〇は3つまで)」というふうに変更いたしました。

問26、問27を御覧ください。こちらは無回答などを防ぐため、「特に情報は得ていない」を設定しました。

最後です。当日配布資料1の2ページ、新規設問を御覧ください。こちらは新規設問として、3つの設問の追加の御提案をいただいております。

まず1つ目、子ども食堂の利用についてです。家族におけるライフスタイルの変化に応じて、家族との共食が難しい時代であることを踏まえた設問となります。国では、地域での共食の推進や環境整備に注目していることを踏まえ、新規設問としての追加の提案でございます。

続いて2点目、フードドライブ等の利用についてです。国の現計画において、貧困世帯の子供の増加や食の分断による健康への影響を危惧していることがうかがえるため、新規設問として追加の提案です。

最後、3点目、非常食の備蓄についてです。国の現計画では、災害時に備えた食育の推進がうたわれており、昨今の災害発生率の高さや食物アレルギーの方に配慮した備蓄など、食育を取り巻く社会情勢の一つとして注目されていることから、新規設問として追加の提案です。

こちらの3つの設問につきましては、国の調査にある項目となっております。健康課としても、3つとも追加してよいのではないかと考えてございます。委員の皆さんの御意見を伺いたいと思います。

市民アンケート(案)についての説明は以上となります。

○山岸会長 ありがとうございます。

ただいま事務局から説明がございました。全体的なアンケートの御意見、また、家族と同居されている、友人と食べる場合、そういった共食のときの設問の仕方をどのようにしたらよいかということ、あと、新設設問についてというようなことで、幾つか御提案もあったかと思います。委員の皆様からの御意見、御質問などあれば、お願いいたします。

○藤澤委員 商工会の藤澤です。

問22-1の家族との外食ですが、これは同居していなくても近くに家族がいるとか、そういう場合があるので、これは同居じゃなくて、外したほうが逆によろしいんじゃないでしょうか。同居って、隣

に住んでいるとか、同じまちに住んでいるとかで一緒に外食するときもあるので、そういうふうを考え直したほうがいいんじゃないかと思います。

○松嶋副会長 私もそう思っていました。近所というのがありますよね。

○山岸会長 今の御意見では、同居されている方でなくても家族で外食することがあるので。

○藤澤委員 そうですね。

○山岸会長 この文言を特に特筆する必要はないのではないかとということです。

○藤澤委員 はい。別のところで同居をうたっているので、こちらは逆に外したほうがいいんじゃないかなと。

○山岸会長 ありがとうございます。ほかに御意見。よろしくお願いします。

○太田委員 太田です。今のお話に私の事情を重ねると、私、単身赴任なんですが、週末帰ってきて一緒に食事をするので、そういう意味からも、同居というのは外したほうがいいと思います。

○山岸会長 ありがとうございます。今、同居を外すという意見がありましたが、事務局のほうではいかがでしょうか。

○事務局 そうですね、事務局としては、委員の皆さんが同居と限定されないほうがいいということであれば、そのような形で変更させていただきます。

○山岸会長 ありがとうございます。

○松嶋副会長 さっき質問の中に、共食ということを考えると家族でなくてもという話もあったと思うんですが、それはこちらの家族のままで皆さんいいのか、それとも家族というよりは、誰か、友人とかというのが入るのかというのがちょっと。これは同居は外してもいいと思うんですけど、家族は家族でこのままでいいですか。

○事務局 先ほど事務局のほうで説明したのは、家族との食事回数というのを国とか都では聞いているので、それと同じような形に設定しています。また共食で、家族に限定されない共食の回数を聞きたいということであれば、そういった家族の食事回数と合わせて共食のことも聞くというのも可能かと考えております。どちらか1本にするのか、それとも両方を聞くのかというのをどうしますかと、委員の皆さんに御意見を伺いたい。

○松嶋副会長 松嶋です。共食は大事で、家族じゃなくて、本当に親戚に近い友達、隣同士とよく御飯と一緒に食べているとか、逆にお子さんが小さいときに同じママ友同士で、しょっちゅうお昼と一緒に食べたり、夕食と一緒に食べているというパターンもあるので、共食がやっぱり大事ということであれば、共食の項目を増やしてもいいのかなというふうにちょっと思いました。私も子育てをしているとき、本当に近所のお子さんたちと、誰かのおうちでお昼とか夕飯を食べていたということがあるので、もし

それがよければ、そういう項目があってもいいと思いました。

○山岸会長 ありがとうございます。

新設のこども食堂の理由についても読むと、ここでは共食推進というようなところで、多分もしかすると、このこども食堂での共食は家族以外の方も入るような形になるかと思いますので、家族との共食、またそれ以外の知人、友人等の共食というようなところで、何か問われ方ですね。家族の共食、それ以外との共食を聞いていくのか、共食というのでくるのか。

○北脇委員 先ほどから共食の話が出ていますが、共食推進をうたっているのであれば、共食という形で話を進めるのでいいのかなとは思いますが。ただ共食という言葉が専門用語で分からない方もいると思うので、どこかに注意書きで説明はしていただいたほうがいいのかなと思いました。

こども食堂に関してなんですが、こちらは共食のほうで聞いているのは分かるんですが、こども食堂という単語を理解できていない人だったりとか、「こども食堂など無料又は低価格で」というと、何かそういう生活に困難のあるみたいなイメージも読んでいて伝わってしまうので、ここの意図とはちょっと違うのかもしれないんですけど、こども食堂も出てきたところなので、こども食堂や、無料または低価格で食事を取る場所を知らないとか、利用したことがある、したことがないというのは、知っている前提でのイエス、ノーだと思うので、その存在自体を知らないよの第3番で、何かちょっと書いて、その認知度をここで聞いてもいいのかな、もしくは入れないんだったら、こども食堂と、あと、この低価格で食事を取るところの注意書きを書くとか、何かもうちょっと配慮が必要かなと思いました。

○山岸会長 ありがとうございます。

○山田委員 国とかで今決めているのは、誰かと一緒にみたいな感じの表現で聞いているので、家族に限らず、誰かと一緒にというので、共食のことだけでいいのかなと思います。

○山岸会長 ありがとうございます。そうしますと共食という単語を使うのではなく、誰かと一緒にという設問で聞くということですね。

あと、北脇委員の先ほどの御意見になると、このこども食堂の利用についてのところ、1と2とあるから、3のところに、「その存在を知らない」という文言を1つ入れるということではよろしいですか。

○北脇委員 はい。

○松嶋副会長 それとあと、フードドライブということに対しても、やっぱり知らない人は結構いるんじゃないかなと思っていて、フードドライブって何と思う方は多いんじゃないかと思うので、それも「知らない」という項目があってもいいかなと思います。

○北脇委員 となると、その3つ目の回答を加えるとともに、フードドライブも含め、やはり下に注意書きで説明文を入れていただけると、学びにもなるのでいいかなと思いました。

あとフードドライブに関しては、先ほど新設の質問があって、御提案いただいたものがありましたよね。すぐ出てこない。

○事務局 当日配布資料の1ですね。

○北脇委員 はい。この9番と10番の。この10番を私は知らなかったので、9番は私も思っていたので、この食品ロスの話は、2つとも追加でいいと思います。

○横山委員 私も9番、10番の選択肢の追加はしていいと思います。

新設のほうの質問で、②番のフードドライブ等の利用についての無料配布を利用したことがありますか。回収じゃなくて、配布を利用したことがありますかですか。それとも、回収のボックスに入れたことがありますか。どっちなんだろうというふうに。

○山岸会長 どちらもありと。

○横山委員 どちらもあり。

○山岸会長 提供したことがあるのか、もらったことがあるのかということですよね。

○横山委員 何か無料配布していることも知っているのか、知らないのか。あまりなじみがないかなとちょっと感じました。

○松嶋副会長 すみません、趣旨が、こちらの新規追加のほうは、食品ロスの削減のためにフードドライブという意味で、こちらの裏のほうを見ると、何か貧困対策みたいな説明文があるので、両面が多分あると思うんですけど、どちらの意図で聞きたいのかなというのがちょっと分からないんです。だからその説明文を配慮したほうがいいのか、もったいないからあげるとか、せっかくだからもらうということなのか、そういうようなことの意図が、ちょっと分かりにくいかなと思いました。

○藤澤委員 食品等のフードロスに関しては保健所のほうからも大分指導が入っているようで、各営業店には指導が入っていて、小金井市も一度推進しているはずなんですよ。何とかカメちゃんとか何か。

○事務局 カメすけ。

○藤澤委員 そうそう。ちょっとすみません。思い出した。

○松嶋副会長 これですね。

○藤澤委員 そうです、そうです。カメすけさんでやっていると思うので。だからそういう形のフードロスにするのか、買物で余計なものを買わないフードロスにするのか、その辺をちょっとアンケート的には。だからたまにもし食事に行って食べ切れなかったら、持って帰ってうちで食べるとか。

○松嶋副会長 そういうものも選択肢にある。

○藤澤委員 選択肢にいろいろ入ってくるんじゃないかなと思うんですが。だからその辺もちょっと分かりやすく説明を入れてあげたほうがいいかなと思います。

○事務局 今のは問18のところに、9、10を新たに今、追加の提案を委託業者の方からいただきまして、その他というのが、今までこちらの審議会で議論してきた項目というのを入れていますので、今、当日配布資料1の1から12までで、食品ロス削減につながる行動というのは網羅しているのかなと、事務局では考えています。

○藤澤委員 はい。それでちょっと違うんですが、すみません、12-1の⑩に食後に歯を磨くとあるんですが、これはもう1個、問15の⑭に歯を磨くと出てくるんですけど、これは2つも必要なんじゃないかな。12-1の⑩、それと問15の⑭。両方とも歯を磨くと出てくるんですが。

○事務局 そうですね。精査させていただきます。

○藤澤委員 だからどっちか1つでよろしいんじゃないかなと思うんですが。

○事務局 分かりました。精査させていただきます。

○藤澤委員 ちょっと気がついたものですから。すみません。

○事務局 ありがとうございます。

○藤澤委員 あまり重複しているところはないんですが、ちょっとこのところだけ、何で歯を磨くがそんなに2つも要るのかなと思って。

○山岸会長 そうですね、改めて見ると。「当てはまる」、「当てはまらない」。こちらは「できている」、「改善したい」というのが15なんですが。当てはまるってできているということですよね。そうですね。何かよく似ているので。

○藤澤委員 そうですね。

○山岸会長 12はもしかしたらなくていいのか。

○事務局 そうですね、ちょっとそこら辺も含め、事務局のほうで検討します。

○山岸会長 お願いします。

○太田委員 先ほどちょっと話題になった小金井カメすけて知らないんですけど、何なんでしょうか。アプリがあるんでしょうか。

○藤澤委員 俺もしばらく忘れていた、今見るまで。たしかそういう取組があったんですよね。

○太田委員 これに答えたときに、僕みたいに知らない人が、何だろう、これとせっかく思ってもらえるチャンスだから、何か。

○山岸会長 下に二次元コードをつけるとかですか。

○藤澤委員 二次元コードをつける。

○太田委員 アンケートでも変な感じがするんです。

○藤澤委員 フードロスの何かあれなんですよ。シンボルマークみたいにしてつくったんですよ。

○事務局 そうですね。今、市のホームページをちょっと読ませてもらうと、まずカメすけというのは、小金井市の食品ロス削減推進キャラクターになります。令和4年10月から、食品ロス削減プロジェクトとして、食品ロスの削減を目的としたマッチングサービス、小金井カメすけというのを開始しておりまして、市内のお店で売れ残りそうな食品や規格外品などを、ウェブサイト「タベスケ」に値引きして出品し、利用者がお得に購入できるようなサービスとなっております。ちょっと詳細についてはホームページとかで御覧いただければと思うんですが、そういったものです。

○太田委員 勉強になりました。

○北脇委員 すみません、全体的なところなんですが、随分前にもお伝えしたんですが、このアンケートが、何のためにアンケートを取って、どういうふうを活用して、どこにつながるのかというのは、やはり挨拶文なり、最後のおしまいのページなり、要はこれだけ時間をいただいて、こんなふうを活用されていますというのを見せていくのを積極的にしたほうがいいと思いますので、引き続きそういった文言の記載は、すみません、今入っていないので、この後この挨拶文に入るのかなとは思いますが、お願いいたしますということ。

○山岸会長 ありがとうございます。

すみません、私のほうから。ちょっと私、変な気づきかもしれませんが、すみません。資料2の1枚目の後ろ、ちょっと1ページの前になりますが、「ご回答にあたって」の、多分今回アンケート用紙で回答とウェブ回答があるんですが、令和7年の何月何日までに御回答をお願いしますと書いてあるんですけど、郵送の方は、何かちょっと細かいことですけど、までに郵送という形でいいんですか。よく必着とか何か。ウェブは多分この日で完結できるかもしれないんですけど。ちょっとすみません、細かいことですけども。

○事務局 事務局です。分かりました。先生の御指摘のとおりだと思いますので、ちょっとそこら辺の文言、こちらでも整理していきたいと思います。ありがとうございます。

○山岸会長 すみません。もし可能であれば、封筒にも書いてあるといいかなと思います。すみません、つい忘れてしまうので、いつまでだったかなと。ありがとうございます。

○事務局 ありがとうございます。

○山岸会長 多分次回の8月でもう完成版になるわけですね。

○事務局 そうですね。

○山岸会長 なので、本日の協議でいろいろ検討していただけたと思いますので。

○藤澤委員 今、これふと思ったんですが、1ページの男性、女性、その他のその他って何ですか。この人類の中に性別は男と女しかいなくて、動物も雄と雌しかいなくて、その他って何ですか、これは。

○山岸会長 答えたくないという問われ方は、最近はあります。だから、もしかするとその他じゃなく答えたくないのほう。心と体の乖離が。

○藤澤委員 ああ、あの、何と言うんですか、体は男でも心が女だとか。そういう言い方をすると差別になるかもしれないけど。

○山岸会長 あと、戸籍上と生活上ととかあるので。

○藤澤委員 ふと思ったので。すみません。

○北脇委員 そうですね、その他で書かなきゃいけないのか。ちょっとそれは気になりますよね。

○藤澤委員 だけど、書きたくない人は○をつけなきゃいいと思うので。逆にその他は。男か女か。

○山岸会長 回答しないとかいうのでも。

○松嶋副会長 回答しないがいいかもしれないですね。

○山岸会長 このその他のところ。

○藤澤委員 無回答でもいいんじゃないですか、逆に。ちょっとその他というのは何か、ほかの性別があるように見えるので。

○山岸会長 無回答にして括弧書きは不要ですよ。

○藤澤委員 そうです。括弧は不要ですね。

○山岸会長 どうしてもどこか選ばないと、そこから有効回答数にならない場合があるのであれば。

○藤澤委員 男性か女性かを入れて、あとは無回答と書いておいて、3を入れないで無回答を入れておいて、ああ、何も印をつけていない人は無回答なんだという解釈でいいんじゃないですか。

○事務局 事務局としては、回答する方が男性とも女性とも選択できない場合を想定し「その他」の選択肢を設定しました。市で行う他のアンケートでも、性の多様性に配慮し、同様の選択肢を設定していますので、それらを参考に表現について検討させていただきます。

○松嶋副会長 根本的な話で申し訳ないです。別の審議会に出ていて、そちらのほうでもちょっと私、アンケートの作成に関わっているんですけど、アンケートの中に、例えばイラストだったり、コラムだったり、何かそういうものを入れる企画というのは。そちらのほうは中の設問に関するような、ちょっとしたヒントとかコラムみたいなものを入れたりするというアイデアで、ちょっとアンケートをしながらかしめるようにする工夫というのをしているんですが、これはまたずっと食育はこういうふうにやってきたので、これでもいいのかなと思うんですが。

さっきちょっと思ったのは、そのカメすけとかのイラストを入れてもかわいいのかなとか、何かそういうふうにして、お子さんと一緒に見ながらとかでも、イラストでも何かちょっとあったりしたほうが楽しく回答できるのかなと、ふと思ったので。ただ予算とか時間とかいろいろあると思うので、特にで

はないんですが、一つの参考意見として。

○事務局 そんなイラストとか、今、特にそこまでは考えてはいなかったところです。今の御意見を踏まえて、どこまでできるかはちょっと分かりませんが、御意見として承っておきます。ありがとうございます。

○松嶋副会長 よろしくをお願いします。

○大堀委員 問20番なんですが、間食をすることはありますかという質問で、「週1～2回食べる」と「週2～3回食べる」って、2がかぶっているような気がするのですが、これって、例えば「1～2回食べる」、「3～4回食べる」という形で圧縮できると思いますけど、いかがでしょうか。

○松嶋副会長 確かに。

○事務局 そうですね。それで、「毎日食べる」、「5～6」、「3～4」、「1～2」、「食べない」というような形で整理できるかと思うので、そのように変更させていただきます。

○松嶋副会長 そうですね。4回だったらどっちなんだろうと。

○山岸会長 ありがとうございます。

次に、第5次小金井市食育推進計画に係る、今度は小中学生アンケート（案）についてです。事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 小中学生アンケート（案）についてでございます。資料3を御覧ください。こちらの小中学生アンケート（案）につきましては、前回のアンケートの調査項目というのがうまくまとまっているということから、基本的には前回調査項目のままとしております。ただ、修正した部分が幾つかございますので、そちらを説明させていただきます。

まず、ナンバー3でございます。朝御飯に何を食べるかと確認したため、「主に」という文言が入っていたんですけど、「主に」という文言を削除し、「朝ごはんは何を食べますか。あてはまるものを選んでください。」というふうにして、また選択肢の①ごはんというふうに書いていたんですけども、そちらの文言だと分かりづらいため、「①お米」に変更いたしました。

続きまして、ナンバー4です。こちらは、先ほど市民アンケート（案）のほうでも説明いたしました。が、そちらの選択肢に合わせて、⑥の部分と⑦の部分と⑨の部分、⑥は「野菜料理」という形でまとめました。⑦番、「汁物（味噌汁、スープ等）」というのを追加しております。⑨として、「その他」というのを設定いたしました。

続きまして、ナンバー11と12を御覧ください。こちらは前回のアンケート調査をした際には、コロナ禍ということもありまして、「コロナによる休校が」というのがあったんですけども、「コロナによる休校」という文言を単に「休校日」に変更いたしました。

当日配布資料2を御覧ください。1ページ目の選択肢の追加を御覧ください。こちらの小中学生アンケートの15、「次の給食に関係している事柄から知っているものを選んでください。」の選択肢に、「どれも知らない」というものを追加しております。前回調査結果でこちらに無回答の方が一定数いたことから、用意している選択肢に関して一つも知らない小中学生がいたことが推察されますので、無回答の方をできるだけ減らしたいということから、「どれも知らない」を追加の提案でございます。

最後に新規設問でございます。2つの設問の追加の御提案をいただきました。

1つ目です。回答者の性別につきまして、調査対象者の実態分析に必要ということを考え、「あなたの性別はどちらですか。」で新規設問の追加の提案です。

続きまして2つ目、「ゆっくりよく噛んで食べているか」に関する設問でございます。あごの発達に関わる点や、国の現計画においても目標として掲げられていることから、新規設問として追加の御提案をいただいたところでございます。

2ページ目、3ページ目では、実際のただいま説明いたしました選択肢と、新規設問を追加した際のレイアウトをイメージして掲載しております。御確認いただければと思います。

小中学生アンケート（案）についての説明は以上です。よろしくお願いします。

○山岸会長 ありがとうございます。

ただいまから、事務局から説明がありました小中学生アンケートについて、御意見、御質問などがあればお願いいたします。

お願いします。

○北脇委員 3番のアンケート、「朝ごはんは何を食べますか。あてはまるものを選んでください。」のところに、「何を食べますか、おかず以外で当てはまるものを選んでください」というふうに入れたほうがいいのかと思いました。4番のところでおかずという単語を使って質問していますので、それに呼応する形で3番に入れておかないと、子供の感覚だと、あれっ、おかずがない、じゃ、その他におかずを入れるのかなとなってしまうので。その後におかずが出てくるので、分かる子は直せるんですけど、分からない子も子供によってはいるのかなと思いましたので、おかずという単語を「おかず以外で」という形で追加したほうが良いと思いました。

○山岸会長 ありがとうございます。

○山田委員 先ほどの続きなんですけど、4番と5番に牛乳・乳製品とくだものが両方とも入っていることがちょっと分からないので。先ほどのおかず以外とおかずにするんだったら、どっちかにするとかいいかなと。

○山岸会長 そうですね。それか、子供が答えるのであれば一緒にしてもいいのかな。多分この設問4

番目は、主食を聞きたかったのかなと思うんですが、一緒にしてもいいのかなと思うんですけど。「朝ごはんは何を食べますか。」というので。そうするとまたいくつでもになるのか。2つまで。どうでしょうか。

○太田委員 2つだとちょっと無理がある。

○山岸会長 無理ですね。

○太田委員 4と5の選択項目を一緒にして、それでいくつでもという形にしないと。

○山岸会長 悩めますね、2つだけだと。

お願いします。

○横山委員 一般の人向けのアンケートでは、最初に「朝食で主食に何をよく食べますか。」で○が3つまでになっていて、次に、「主食以外に主に何をよく食べますか。」で○はいくつでもというふうになっているので、同じようでもいいかなと思います。

以上です。

○藤澤委員 これに対して、子供の偏り過ぎの食事系のことに関して、間食のアンケートが全然出ていないんですが。要するにお菓子類ですね。間食。間食を取り過ぎると食事を取らない。食事を取らなければ偏ったことになる。それに対してのアンケートが全然入っていないんですが。大人の場合は別にどうでもいいですけど、子供の場合はやっぱりそれを把握しておいたほうが。どうして食事を取らないのかといったら、ポテトチップをよく食べるとか何かで食べなくなるとか、そういう要点も押さえていったほうがいいんじゃないかなと思うんですが。

○山岸会長 ありがとうございます。間食についてという意見がありました。

私からちょっと委員の皆様に教えていただきたいのですが、今この小中学生のアンケートで、「給食は残さず食べますか。」という、その残さず食べるというのが、何かそもそも聞くことって大切なんですか。多分個人に合わせて量は調節していると思うし。

あと、19番目の「家での食事は残さず食べますか。」というのも、この結果を聞いてどのような意図になるのか。思春期になるといろんな体調もあると思うし、このアンケートを答えるときにも、もしかすると試験の前とかいうか、テストの前だと緊張するとか、いろいろあるんですけど。

何かこの17番とか19番というのが、私は、ここからどうつなげていくのかちょっと分からないので、もしあまり問題数が増えるのが答える児童生徒も大変なのであれば、ここに間食の設問を入れる。だからあまり問題数が増えると多分忙しい……。多分学校でこれを調査されるんでしょうか。そうするとなかなか時間を取るのも大変かなと思うので、ちょっと私のほうから、提案というか、御質問という形で発言させていただきました。すみません。

○松嶋副会長 いろいろすみません。この12番に、何か主食・主菜・副菜といって説明があるのに気がついたんですけど、あえてその4番、5番の朝御飯のときに、そういうおかずとか主食という言葉に子供に向けたから簡単にして、別々に分けているのかなと思ったときに、こっちに来ると主食と主菜という難しい言葉が出てきてしまうので、それで、こっちと朝御飯に何を食べたかということと、給食でとかそろった食事というのが、何となく同じようなことを聞いているというか。

4、5では、ちゃんと主食等のバランスが取れた物を食べているかということを多分聞きたくて、4、5で分けていると思うんですけど、12番でまた同じような趣旨のことを聞いているのかなというふうに。

それを何かもうちょっと効率よくまとめられないかなということと、あとは13番で、牛乳を1杯以上飲みますかというのって、牛乳は毎日飲んだほうが良いという認識で聞いているのかなと。牛乳にアレルギーがある子もいると思うんですけど、その牛乳を1杯以上飲みますかという質問がどこにつながつているのか、何を聞きたいかということをちょっと、私は分からないのでお聞きしたいなと思いました。

○山岸会長 ありがとうございます。

○大堀委員 新規追加されるといった18番なんですが、「ゆっくりよくかんで食べていますか。」というんですけど、どれくらいでよくかんでいるのかというのをちょっと書いてあげたほうが、子供には分かりやすいのかなと。

あと、その中の回答の2が、「かまないで飲みこむことがある」と書いてあるんですが、ちょっと揚げ足のような感じにもなるんですが、「よくかまないで飲みこむことがある」とかにしたほうが良いのかなと思いました。丸々物をかまないで飲む人って多分ほとんどいないのかなと思っています。

以上です。

○牧野委員 このアンケートなんですが、小中学生対象になっていますが、これは小中学生対象といっても、小学校1年から中学3年までであるわけで、全学年じゃなく。

○事務局 小4と中1、中2。

○牧野委員 それはどの学校も小4と中1、中2なのか、あとは、例えば人数が多過ぎちゃうので、各学校から何名とか何か、そういう感じがあるんでしょうか。

○事務局 前回は市内の小中学校各2校の小4と、中1、中2を対象とした。今回のアンケートについては、調整している段階です。

○牧野委員 ありがとうございます。

○山岸会長 前回のアンケートをそのまま踏襲されるというようなことなんですが、新規を入れるとい

うことと、4と5は大人の方のアンケートと合わせるという形にしましょうか。

18番の「ゆっくりよくかんで食べていますか。」の回答の②番目は、「よくかまないで飲みこむことがある」という文言にするということによろしいでしょう。

○松嶋副会長 7番なんですけど、「朝ごはんを食べる時の自分の気持ち」というよりは、御飯を食べるときにして。「ともだちといっしょに食べたい」とあるので。朝御飯をあまり友達と一緒に食べることは少ないけれども、夕御飯とかを友達と一緒に食べたいというのがあるから、共食ということで考えれば、朝御飯に限定せず、食事をみんなで食べたいということを聞きたいのであれば、朝御飯じゃなくてもいいのかなと思いました。

○山岸会長 いろんな家庭の事情もあるので、共食ということを考えるのであれば、ちょっと7、8と一緒にぐらいにしてもいいのかもしれないですね。

○松嶋副会長 そうです。食べたいという希望でこのことを聞いているのであれば、一緒に食事を誰かと食べたいと聞いているのかなと思うんですけど。食べているかどうかはともかくとして。

○事務局 そうすると今、7番のところは朝御飯に限定しなくていいということで、それに伴って8番も夕御飯に限定しなくていいというような意味合いですか。

○松嶋副会長 そうですね。

○事務局 9番か。

○松嶋副会長 本当だ。夕御飯。そうですね、両方あるんですね。

○事務局 そうですね。7番に朝御飯。

○松嶋副会長 ちょっと9番を私は見ていなかったんですけど。

○事務局 今ちょっと私が見ているのは、当日配布資料2のレイアウトの追加したほうの番号なので。こっちだと7番に「朝ごはんを食べる時の自分の気持ちに近いもの」、9番に「夕ごはんを食べる時の自分の気持ちに近いもの」と書いてあるんですけど、それをまとめるということですか。

○松嶋副会長 はい。そうです。それでもいいのかなと。朝御飯ってあまり友達と一緒に食べたいとか。朝御飯ってきっと、家族で一緒に食べることが難しいおうちが割と多いんじゃないかなと思っているので。ただ気持ちとしては、一緒に食べたいという気持ちを聞いているのかなと思うので、まとめてもいいかなと思います。

○事務局 この7番と9番というのが、6番と8番からの続きで聞いているので。そうですね、ちょっとそこら辺を全部6番と8番も、そうすると関連してくるかなと思うんです。

○松嶋副会長 そうですね。何を聞きたくてこれをしているのかがちょっとあれなんですけど、朝御飯というのは割と忙しくて、出かける時間もまちまちで、1人で食べることが多いという回答で、夕飯は割

とみんなで一緒に食べているということが浮き彫りになるなら、それでもいいのかなと思うんですけど。

○藤澤委員 10番の夕御飯は何時に食べますかというやつで、これは午後11時と午前12時って、夜中の零時ですよ。これは10時以降ぐらいから要らないんじゃないでしょうか。

○事務局 ⑥、⑦、⑧をまとめるというようなことですかね。

○藤澤委員 そう。だから5時から7時とか、7時から10時とか、何かそういう、もうちょっと簡単に分けたほうがいいんじゃないですか。10時以降は夕御飯じゃないです、正直言って。私も夜中の仕事をしていますけど、正直言って10時以降は子供の時間ではないです。

○事務局 ここの選択肢は少しまとめた形で設定します。

○横山委員 中学生になると、例えば10時半ぐらいに塾から帰ってきて、夕御飯を食べる子もいることはいると。

○藤澤委員 だからそれは10時以降にすればいいじゃないですか。

○横山委員 あっ、そうですね。

○藤澤委員 それはだから逆言ったら、括弧か何かして、塾とか何か書いて。塾に行っている子はここに○してください。10時以降だったら塾って○してもらうか。それでいい。何かそうすると枠が空くんだから、ちょっとそのぐらいい入れてあげてもいいんじゃないですか。そうすると、そちらのほうのデータも取りやすいんじゃないかしら。

○事務局 そうですね。選択肢の部分は少しまとめて、少なく設定させていただきます。

○山岸会長 ありがとうございます。

すみません、私の進捗が悪くて、ちょっと時間が押してきましたので、小中学校対象のアンケートは少し問題を精査するところも出てくるかと思いますので、取りあえず。

○事務局 そうですね。もしあれでしたら、ちょっと御意見をいただいたところをまたまとめさせていただきますので、何かもし足りなかったという場合は、すぐにでもちょっと御意見をいただければ、それを反映できるかなと思いますので、よろしくお願いいたします。

○山岸会長 ありがとうございます。委員の皆様、活発な御意見ありがとうございました。すみません、ちょっとこれで、小中学生対象のアンケートの御意見の時間は終わらせていただきたいと思います。

すみません、次は、議事の3番目の小金井市食育ホームページについてになります。松嶋委員、お願いいたします。

○松嶋副会長 今回、雀部委員が退任されたことで、私のほうが編集長にはなったんですが、こちらのほうでまとめるのであれば、三毛さんのほうから。

○山岸会長 三毛委員のほうから。では、お願いします。

○三毛委員 では、三毛から、食育ホームページの進捗についてお話をいたします。

今、松嶋委員からありましたように、編集委員長をされていた雀部委員が、この推進会議の委員も、先ほど退任されたという報告がありましたように、食育ホームページの委員も6月末をもって退任されました。それに伴って松嶋委員が新しい編集委員長となり、私、三毛がそのサブとして補佐役に回る形になりました。

私のほうから、今日は進捗を御報告いたします。進捗の報告は、前回のこの会議以降の食育ホームページの内容についてです。

1つは、栄養成分表示の活用クイズですが、この第20弾が掲載されました。現在減塩をテーマに塩分表示に焦点をあてていますが、今回のテーマは御飯のお供、いわゆる塩辛であるとか、ノリのつくだ煮であるとか、そういったものの表示に関するクイズになっております。

もう一つは、「小金井野菜で簡単レシピ」ですが、6月は季節の野菜にルバーブを取り上げて、「ルバーブとナスのマリネ」が掲載されておりますので、ぜひ御覧になっていただきたいと思います。こちらの太田委員が栄養成分表示の活用クイズを担当されておりますので、一言よろしく願いいたします。

○太田委員 去年はエネルギー、カロリーの比較のクイズをやってきて、それが10本になったので、飽きられないうちにと想着減塩のほうに変えて、これも10本になったので、一応今、更新はちょっとお休みかなと思っております。また何かアイデアが思いついたら再開しようと思っております。

以上です。

○三毛委員 以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。今、三毛委員、太田委員からお話がありましたけど、何か質問等ございますでしょうか。大丈夫でしょうか。ありがとうございます。

ないようでしたら、ほかにお知らせや報告のある方はいらっしゃいますでしょうか。

○坂元委員 小金井歯科医師会からちょっと報告させていただきます。6月15日に小金井の宮地楽器ホールで、市民宛ての「歯と口の健康2025」がございました。この様子の写真がありますので、皆さん見てください。また来年も御協力お願いいたします。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。写真たくさん資料、ありがとうございました。

○坂元委員 保健所の先生も手伝っていただきまして、ありがとうございました。

○山田委員 座ったままですみません。「ちゃんとごはん健康に」ということで、実際にはA3版とA4版のポスターとして作成しております。管内6市と関係機関、北多摩南部圏域栄養・食生活ネットワーク会議のほうで作成しております。このポスターを使って、9月が厚生労働省の定める食生活改善

普及運動月間ですので、管内6市の施設や協力スーパー、コンビニ、給食施設、大学、商工会、小田急とか京王線、JRなどの駅に掲示し、野菜を食べることとか栄養バランス、減塩について普及啓発を行う予定になっております。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。では、こちらのリーフレット、また提供させていただきます。

それでは、以上で議題は終了となります。

最後に、4、その他です。事務局から何かございますでしょうか。

○事務局 次回の食育推進会議につきましては、8月27日の水曜日の午後2時からを考えております。開催通知、資料については、開催日近くになりましたら送付させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

以上です。

○山岸会長 ありがとうございます。次回は8月27日水曜日、午後2時からということです。よろしくをお願いいたします。

以上をもちまして、令和7年度第2回小金井市食育推進会議を終了いたします。

皆様、本日はありがとうございました。

— 了 —